

2006年5月12日プレスリリース
山口情報芸術センター(YCAM)presents

魔法のように観るものの心を捉える<映像の魔術師>ロベール・ルパージュの演劇
最新作品に、俳優 白井 晃が一人芝居で挑む。



Photo:ERICK LABBE

カナダ・ケベック州芸術月間

作・演出：ロベール・ルパージュ 出演：白井 晃

演劇公演「アンデルセン・プロジェクト」

7月29日(土) 19:00 開演／30日(日) 14:00 開演

山口情報芸術センター



山口情報芸術センターでは、7月29日(土)、30日(日)の2日間に渡って、ロベール・ルパージュ作・演出作品「アンデルセン・プロジェクト」を行います。

これは、カナダ・ケベック州の舞台芸術シーンを代表する演出家ルパージュが、2005年にアンデルセン生誕200年を記念して委嘱されて制作したもので、世界各国で上演されています。日本では、東京、兵庫、高知に引き続き、山口の4カ所で公演。山口情報芸術センターではテレビ、映画、舞台で活躍する**白井 晃**出演による日本版を行います。

■ <映像の魔術師>と呼ばれるロベール・ルパージュ演出作品が4年ぶりに来日。

中国・九州地方で待望の初公演！

ロベール・ルパージュは、舞台芸術に映像など視覚的要素を多様に取り入れて独自の演劇空間を創出する、世界で最も注目されている演出家の一人です。1980年代より、積極的に表現の多様性を模索し、演劇の視覚的要素を重要視した作品を多く発表。2002年に世田谷パブリックシアター(東京)で上演された「月の向こう側」では、舞台をライブで撮影したものと既存の映像を巧みに組み合わせて観客の視点を揺るがし、イメージーションを刺激する作品で、会場に大きな驚きと感動を巻き起こしたことで話題となりました。

そして、近年は日本でも根強いファンを持つシルク・ド・ソレイユの「KA」(2004年アメリカラスベガス初演)でも演出を行いました。ルパージュの作品は、長い間、世界の多くの人々から注目を集め、<ルパージュ・マジック>とも呼ばれています。

■個性派俳優白井 晃が、初の一人芝居に挑む！

今回、世界が注目するルパージュの作品に挑むのは白井 晃。1983年から2004年にかけて『遊○機械／全自動シアター』を主宰し、読売演劇大賞優秀演出家賞を2度続けて受賞するといった演出家としての活躍が注目される一方、三谷幸喜作品のミュージカル「オケピ！」やテレビドラマ「古畑任三郎」でも個性的な演技で人気を博す実力派俳優です。今回のプロジェクトでは、初めての一人芝居に挑戦。4月には、カナダ・ケベック州へ赴き、ルパージュのもとで稽古を重ねてきました。

「海外から数多くの演出家が来日して活動していますが、ロベール・ルパージュは、私にとって最も印象深く、最も共感を抱いた演出家のひとりです。

衝撃だったのは、近作のひとり芝居「月の向こう側」。感銘を受け、客席でひとり茫然としていたのを昨日のここのように覚えています。ルパージュ作品は、視覚的効果を駆使した演出で、我々の既成の概念を、いとも簡単にぶち壊し、演劇表現の可能性を見せつけてくれました。

ロベール・ルパージュと私は同世代。ルパージュ本人と初めて会って話をした時から、初対面とは思えないほど、話題が多岐にわたり、共感できることが多く、「運命的な出会い」だと直感しました。

今回、ルパージュ作品の日本語上演に出演し、共に創作するプロセスは、自分にとって、もう一度演劇とのかかわりを見つめ直す、貴重な経験になると思っています。」

白井 晃

山口情報芸術センターは、世界で注目される作品を広く紹介しています。3月のドイツ座演劇公演「エミーリア・ガロッティ」に引き続き、今回は、カナダ・ケベック州を拠点に国際的に活動するロベール・ルパージュ作・演出作品「アンデルセン・プロジェクト」を上演します。その実力が高い評価を得ている白井 晃が、同じ演劇人としても深い関心をよせるルパージュの作品にどう挑むのか。見所が多い本公演をどうぞご紹介いただけますよう、よろしくお願いいたします。

◎ストーリー

主人公のカナダ・ケベック出身の作詞家フレデリック・ラボワントは、パリ・オペラ座に招聘され、アンデルセンの童話を基に子供向けオペラの台本作りを依頼される。あこがれの地パリで、芸術界の最高峰ともいえるパリ・オペラ座での仕事に取り組むフレデリックは、劇場のディレクター ギンブレティエールを通して作品制作の裏側を見、また、フレデリックと同じアパートに住む移民のモロッコ人青年ラシドを通してパリのもうひとつの側面を見る。

主人公フレデリックの現代のパリでの生活と、オペラのもとになる童話「木の精ドリアーデ」（栗の木に住む妖精ドリアーデがパリにあこがれ、1867年のパリ万博を見物するという物語）のパリへの憧れの日々とが重なり合い、現代を生きる私達の苦悩を照射する。

◎「アンデルセン・プロジェクト」 ロベール・ルパーージュ出演 英語版より

※山口では、白井 晃出演による日本語版を上演。



Photo. ERICK LABBE

概 要

カナダ・ケベック州芸術月間

演劇公演「アンデルセン・プロジェクト」

作・演 出： ロベール・ルパージュ

出 演： 白井 晃

日 時： 2006年7月29日(土)19:00開演／30日(日)14:00開演 30分前開場

※終演後、アフタートークを行います。

※期間中、山口市立中央図書館にて、関連書籍を展示します。

会 場： 山口情報芸術センター スタジオA

料 金： 全席指定

A席 一般 3,500円 any会員/特別割引 3,000円

カナダ・ケベック州芸術月間 ポール＝アンドレ・フォルティエ「1x60」との

セット券 一般5,000円 エニー会員4,000円

B席 2,000円

※特に、お子様向けの内容ではありませんので、小学生以下のご入場はご遠慮ください。

チケット情報：any会員先行予約：6月10日(土)～

※any会員先行予約初日は電話のみの受付となります。

プレイガイド発売：6月17日(土)～

チケットインフォメーション 083-920-6111

ローソンチケット 0570-084-006(Lコード 69886)

主 催： 財団法人山口市文化振興財団

助 成： 財団法人地域創造

企 画 制 作： 山口情報芸術センター

平成18年度文化庁芸術拠点形成事業

お問い合わせ：山口情報芸術センター 企画担当：岸^{よつもと}、四元

〒753-0075 山口県山口市中園町7-7 TEL：083-901-2222 FAX：083-901-2216

E-mail：information@ycam.jp <http://www.ycam.jp/>

■プレス用写真、映像をご入用の方は上記までご連絡ください。

■特別割引について

特別割引は、青少年(18歳未満)、シニア(65歳以上)、障害者及び同行の介護者1名が対象。

山口情報芸術センター、山口市民会館、山口南総合センターのみの販売となります。

■託児サービス

対象：0才以上 託児時間：開演の30分前から終演後30分後まで

料金：お子様1人につき500円、2人目以降は1人につき300円

申込方法：7月22日(土)までにチケットインフォメーション(TEL：083-920-6111)までお申し込みください。未就学児のご入場はご遠慮ください。

<山口情報芸術センター(YCAM)へのアクセス>

■JR新山口駅から

- ・JR山口線湯田温泉駅下車、徒歩20分/タクシー5分
- ・JR山口線山口駅下車、徒歩20分/バス10分(中園町か済生会病院前車)/タクシー5分
- ・防長バス25分、中園町下車

■自動車利用

- ・山陽自動車道で防府東ICから30分/九州・中国自動車道で小郡ICから15分

□アーティストプロフィール

作・演出：ロベール・ルパージュ

1957 年、カナダ・ケベック州生。

1978 年、カナダの演劇学校コンセルバトワール・ダール・ドラマティークを卒業後、フランスに留学、パリでアラン・クナッパに師事。

1982 年、カナダに戻り、テアトル・ルペールに参加。本格的な演劇活動を始め。



Photo: Sophie Grenier

1986 年に東洋系移民を題材とした「ドラゴンズ・トリロジー(竜)三部作」、1992 年フランス語の「シェイクスピア三部作」の発表で一躍脚光を浴びる。同年にはロンドン・ナショナルシアターでの「夏の夜の夢」の演出と、ひとり芝居「ニードルズ・アンド・オピウム」で、ともに絶賛を浴びた。

1993 年 1 月にはカナディアン・オペラ・カンパニーによる「青ひげ公の城」と「期待」で初のオペラ演出を手がけて成功。世界的に注目される演出家のひとりとなる。

1990 年、オタワのカナダ国立芸術センターにおいてフランス語劇の芸術監督に就任、国際的な活動を広めるために 1993 年に退任。翌年、新しい創造集団エクス・マキナを結成。小道具や映像を巧みに用い、空間を幾重にも広げ、イマジネーションの無限の可能性を証明してみせる彼の舞台、そのルパージュ・マジックが日本にお目見えしたのは 1993 年のパナソニック・グローブ座でのテアトル・ルペールによる「シェイクスピア三部作」であった。その後、一人芝居「ニードルズ・アンド・オピウム」を上演し、高い評価を受ける。

1995 年の「ヒロシマー太田川七つの流れ」(ワーク・イン・プログレス)で、本格的なオリジナル作品の初の日本上演。日米欧の数都市を舞台に、第 2 次世界大戦後の世界の在りようを壮大な絵巻物として見事に描き出し、高い評価を得る。1996 年 2 月には自身の脚本・演出の「ポリグラフ(うそ発見器)」を上杉祥三、穂谷友子、明楽哲典の出演で東京芸術劇場にて上演した。

1999 年にはサイトウ・キネン・フェスティバル松本で小沢征爾指揮による「ファウストの劫罰」を演出し、音楽界でも話題となったことは記憶に新しい。

「月の向こう側」(2000 年カナダ初演、2002 年東京公演)ではタイムアウト賞、イヴニングスタンダード最優作品賞(2001 年ロンドン)といった賞を数々受賞し、各国をツアー中。最近ではシルク・ド・ソレイユの新作「KA」を演出。現在もラスベガスのシルク・ド・ソレイユ常設劇場にて上演を続け、より多くのファンを獲得し続けている。

「アンデルセン・プロジェクト」東京公演では、俳優として出演。

出演：白井 晃

1957 年生。舞台演出家、俳優。1983～2002 年にかけて『遊◎機械／全自動シアター』を主宰。音楽劇から硬質なストレートプレイまで、美意識の高い、緻密な舞台演出が広く評価され、遊機械オフィス・プロデュース他、外部企画など演出活動の場を広げる一方、俳優としても舞台、映像ともに活躍中。2001 年、2002 年と連続して、第 9 回、第 10 回読売演劇大賞優秀演出家賞受賞。



主な演出作品：

「ラ・ヴィータ」(1991 年初演／2001 年 世田谷パブリックシアターなど『遊◎機械／全自動シアター』)

「銀河鉄道の夜」(1995、1996 年 青山劇場 出演：伊崎光則、さねよしいさ子 他)

「ムーン・パレス」(2001年 新国立劇場小劇場 出演：遠藤雅、高橋かおり 他)
「ピッチフォーク・ディズニー」(2002年 シアタートラム 出演：萩原聖人、山本
耕二、宝生舞 他)
「クラブ・オブ・アリス」(2002年 青山円形劇場 『遊○機械／全自動シアター』最終公演
主演：浅野温子)
「宇宙でいちばん速い時計」(2003年 シアタートラム 出演：鈴木一真、小栗旬、
浅野和之 他)
「ファウスト」(世田谷パブリックシアター、北九州芸術劇場 出演：筒井道隆、石井一孝 他)
「溺れた世界」(2004年 シアタートラム 出演：岡田義徳、上原さくら 他)
「ルル〜破滅の微笑み〜」(2005年 北九州芸術劇場、世田谷パブリックシアター、
まつもと市民芸術館 出演：秋山菜津子、古谷一行、根岸季衣 他)
「うら騒ぎ」(2005年 新国立劇場 出演：沢田亜矢子、今井朋彦、井川 遥、白井 晃 他)
「星の王子さま」(2003年初演、2005年 新国立劇場 出演：宮崎あおい、岡田浩暉、
ROLLY 他)
「偶然の音楽」(2005年 世田谷パブリックシアター 出演：仲村トオル、小栗旬 他)
オペラ「愛の白夜」(2006年 神奈川県民ホール 30周年記念事業)

主な出演作品：

舞台：「ア・ラ・カルト」構成・出演(1989年～ 青山円形劇場 演出：吉澤耕一)
「滅びかけた人類その愛の本質とは……」(1993年 パルコ劇場 演出：宮本亜門)
「パードレ・ノーストロ」(2002年 世田谷パブリックシアター 演出：佐藤信)
「オケピ！」(2000年、2003年 青山劇場他 演出：三谷幸喜)
映画：「FOCUS」(1996年 監督：井坂聡) 「誘拐」(1997年 監督：大河原孝夫)
「睡眠」(1999年 監督：落合正幸) 「破線のマリス」(1999年 監督：井坂聡)
「GTO」(1999年 監督：鈴木雅之) 「川の流れるように」(2000年 監督：秋元康)
「みんなのいえ」(2001年 監督：三谷幸喜)
「ゴジラ×メカゴジラ」(2002年 監督：手塚昌明)

テレビ：「王様のレ스토랑」「解析料理」(1995年 CX) 「警部補古畑任三郎」「香港
ドラゴンニュース」(1996年 CX) 「金田一少年の事件簿」(1996年 NTV)
「3番テーブルの客」「こんな恋のはなし」(1997年 CX) 「FiVE」(1997年
NTV) 「大河ドラマ 毛利元就」(1997年 NHK) 「スチュワーデス刑事」
「STAFF ONLY」「WITH LOVE」「世界で一番パパが好き」(1998年 CX)
「お水の花道」「古畑任三郎」(1999年 CX) 「ミスDJ〜殺しのリクエスト〜」
(2001年 CX) 「東京物語」(2002年 CX) 「HR」(2002～2003年 CX)
「お厚いのがお好き？」(2003～2004年 CX) 「大河ドラマ 新選組!」(2004年
NHK) 「あの日にかえりたい〜東京キャンティ物語」(2004年 NTV)

□アンデルセン・プロジェクト国内ツアー

東京公演：6月23日(金)～30日(金) 出演：ロベール・ルパージュ
7月1日(土)～8日(土) 出演：白井 晃
世田谷パブリックシアター
兵庫公演：7月15日(金)、16日(土) 出演：白井 晃
兵庫県立芸術文化センター
高知公演：7月21日(金)、22日(土) 出演：白井 晃
高知県立美術館

□カナダ・ケベック州芸術月間とは

演劇、ダンスの視点から、文化や歴史が複雑に混在するカナダ・ケベック州の芸術を紹介します。
舞台で、レクチャーで、映像で、北米大陸の中で唯一のフランス語圏“カナダ・ケベック州”を
山口情報芸術センター内各所で味わうイベント満載の期間です。

1)ポール＝アンドレ・フォルティエ振付・出演作品を2作品上演！

サーティー・サーティー

野外連続ダンス公演「30 x 30」 映像：田邊アツシ(山口市吉敷在住)

日時：2006年6月19日(月)～7月18日(火) 13:00～

会場：山口市中心商店街周辺 料金：無料

ワン・シックスティ

YCAM滞在制作新作ダンス公演「1 x 60」 映像：南 隆雄

日時：2006年7月23日(日) 開演14:00～

会場：山口情報芸術センター スタジオA

料金：全席指定

A席一般2,500円 any会員／特別割引2,000円

「アンデルセン・プロジェクト」とのセット券一般5,000円 any会員4,000円

B席1,000円(学生対象 学生証をご呈示ください)

2)＜映像の魔術師＞ロベール・ルパージュに、白井 晃が一人芝居で挑む！

演劇公演「アンデルセン・プロジェクト」

作・演出：ロベール・ルパージュ 出演：白井 晃

日時：2006年7月29日(土)19:00開演／30日(日)14:00開演 30分前開場

会場：山口情報芸術センター スタジオA

料金：全席指定

A席 一般 3,500円 any会員/特別割引 3,000円

ポール＝アンドレ・フォルティエ「1x60」とのセット券一般5,000円 any会員4,000円

B席 2,000円(学生対象)

3)作品をより楽しむための公開講座を開催！

「初めてのパフォーマンスガイドvol.4」

講師：石井達朗(舞踊評論家、慶応大学教授) 料金：無料

日時：2006年6月24日(土) 17:00～

会場：山口情報芸術センター

カナダ・ケベック州の多彩なダンス／演劇シーンを紹介します。

4)カナダ・ケベック州の舞台作品を一覧するパフォーマンス・フィルム・フェスティバル！

「ケベック・ダンス・ビデオ」

日時：2006年7月15日(土)～16日(日) ※予定

会場：山口情報芸術センター スタジオC 料金：1回300円 通し券1,000円

エドゥワール・ロック(ラララ・ヒューマンステップス)、マリー・シュイナールなど、

カナダ・ケベック州を代表する振付家／ダンサーのビデオを上映します。